

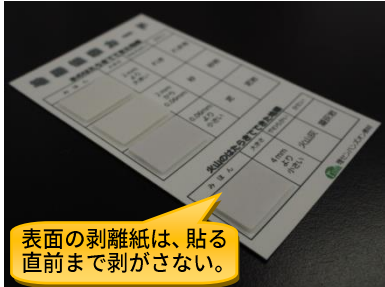
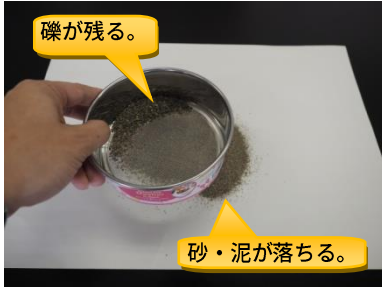
つぶっぶカード【超簡単 粒度表 Ver.2】

火山灰を追加し、小学校で学習するすべての地層構成物に対応しました。

1. 準備

砂場の砂、火山灰（入手できない場合は軽石や鹿沼土を砕く）、名刺カード用紙（A4サイズ10面）、両面テープ（幅10～12mm）、ざる、粉ふるい、上質紙（3枚）、チャック付きポリ袋（100mm×70mm）

2. 作り方

①名刺カードに型紙を印刷し、両面テープを貼る。  表面の剥離紙は、貼る直前まで剥がさない。	②ざるの中に砂を入れ、ふるう。  礫が残る。(大き過ぎるため、使わない) 礫・砂・泥が落ちる。	③②で落ちたものを粉ふるいに入れ、ふるう。  礫が残る。 砂・泥が落ちる。
④③で落ちたものをもう一枚の紙の上に静かに落とす。  泥が残る。 砂が落ちる。	⑤剥離紙を1枚ずつ剥がし、礫・砂・泥をカードに貼る。  水のはたらきでできた地層 み ほん 大きさ やわら 2mm より 大きい しっかりと押しつける。	⑥火山灰を用意できない場合は、軽石や鹿沼土を砕く。  鹿沼土はホームセンターで入手可能。
⑦火山灰をカードに貼る。 	⑧チャック付きポリ袋に入れる。 	

3 オススメの使い方

- 露頭の観察を行う際に、地層の構成物と触り比べながら、地層が流れる水の働きや火山の噴火によってできたことを推論する。
- 露頭の観察が難しい場合は、地質ボーリングの資料や、近くの川原に落ちている岩石と触り比べながら、地層が流れる水の働きや火山の噴火によってできたことを推論する。
- 火山灰と砂をルーペや実体顕微鏡で観察し、違いを比較しながら、火山の噴火から身を守る方法について考える。

